平成19年度事業評価書(事前)要旨

評価実施時期:平成19年8月

担当部局名:医政局研究開発振興課

开侧天池时粉.	下成 1 5 平 6 万				
事業名	医療クラスター(仮称)整備事業				
政策体系上の 位置付け	基本目標 I 安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策目標 9 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること 施策目標 9 - 1 バイオ技術、ナノ技術等の先端技術を活用し、画期的な医薬品、医療機器等の研究開発を推進すること				
事業の概要	平成20年度から、国立高度専門医療センター等を想定した中核的医療機関に隣接して、官民共同研究を推進するための共用動物実験機器、実験設備等を整備する。国立高度専門医療センター等を想定した中核的医療機関に、重点的な開発が必要な難病等の医薬品・機器等の健常人を対象とした第 I 相試験等を実施するための医療スタッフを雇用する。				
	【評価結果の概要】				
	(1) 必要性の評価				
	民営化や外部委託の可否 可 否				
	他の類似事業(他省庁分を含む)がある場合の重複の有無 有 無 (有の場合の整理の考え方)				
施策に関する	(2) 有効性の評価 事業の有効性				
心原に関する 評価結果の概 要と達成すべき 目標等	(3) 効率性の評価 出願された知的財産が効率的に実用化されるよう、基礎研究と臨床研究が一貫して実施できる体制とすることで、国民が早期に新たな医療技術による恩恵を受けることができる。				
	(政策等への反映の方向性) 評価結果を踏まえ、平成20年度予算概算要求において所要の予算を要求する。 (概算要求額:1,500百万円)				

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

アウトカム指標	本事業と指標の関連についての説明				
1 TLOによる技術移転件数	本事業により、高度専門医療機関で創出された技術が				
	実用として企業に利用された場合の実績				
(調査名・資料出所、備考)					
┃・ 指標は、(財) ヒューマンサイエンス振興財団の統計による。					
マムープ・1 化価					
アウトプット指標	本事業と指標の関連についての説明				
1 TLOによる技術特許出願	本事業と指標の関連についての説明本事業により、高度専門医療機関で創出された技術が				
7, 7 1 2 1 1 DIV					
1 TLOによる技術特許出願 数 (調査名・資料出所、備考)	本事業により、高度専門医療機関で創出された技術が				

関係する施政 方針演説等内 閣の重要政策 (主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)
			